

1月5日 (火)

お茶菓子は甘くておいしいよ!

5歳児の子どもたちは、お抹茶の先生に指導していただきおけいこをしています。

始めは、お抹茶やお菓子を頂くことが楽しみでした。おけいこを続けていくうちに茶筌を持つ手もなめらかになり、姿勢も良くなりました。

お抹茶を点てることだけでなく、立つ、座る、お辞儀の仕方でも指導していただき、立居振舞いも少しなめらかになりましたように思えます。また「お点前ちようだいいたします」「どうぞ」「お下げいたします」など普段使うことのないことばも覚えられました。お点前を覚えるだけではなく、茶花を拝見して名前を知り、気持ちをお抹茶を点てるなど時間がゆっくりと流れています。



上手にお抹茶点てたよ

子どもたちを取り巻く環境はどんどんスピードが速くなってきました。子どもたちはそのスピードにはついていきません。私たち大人も穏やかにゆったりとした時間を過ごしたいものです。



きれいなお花だね

飯山北第一保育所

もうすぐ完成! 大切な宝物



ちょっと怖いね。ドキドキ

5歳児の子どもたちは「うちの港ミュージアム」でうちわ作り体験をしました。職人さんに一人ずつ付き添ってもらい、自分の名前を筆で書いた紙をうちわの骨に貼っていきましました。

緊張した表情の子ども達でしたが「自分で名前を書いたん?すごいな」「糊のつけ方がうまいなあ」などとほめてもらいながら、自信をもって取り組んでいきました。紙が乾くと、次の行程です。金枠と木槌を使った『型切り』は、子ども達に大人気の作業でした。そして『へり貼り』の作業で出来あがりとなりました。

自分の作ったうちわの裏面は、和紙を使ったちぎり絵で飾りました。「僕の大好きな野球をしよるところにする」「大きな木と虫の絵にしたい」「一人ひとりの選んだテーマで個性あふれる作品になりました。

表面の自筆の名前の横には、お家の人から「名前に込められた願い」のメッセージを添えてもらう計画です。一人ひとりが一生懸命作ったうちわが子ども達の大切な宝物になってくれれば嬉しいですね。

和紙をちぎるの難しいなあ



うまく塗れたかな? 上手!上手!

車いす体けんから学んだこと

飯山北小学校三年 建石陽菜

わたしは、三年生で車いす体けんをしました。

まずさいしょに教えてもらったのは声かけです。

だんさがある所には、「ガタンとなりますよ。」や「坂を上りますよ。」などの細かな声かけが乗っている人の不安をすくなくするのだと教えてもらいました。

坂道を下る時には、車いすの人が落ちないように、後ろ向きに運転するのがとてもむずかしくてこわかったです。やさしさしらべをしてみても車いすをおしている人は乗っている人が安心してい動ができるように注意しないといけないし、力もひつようで大変なんだなあということが分かりました。

これからわたしは、色々な場所で車いすをおしている人に出会ったら、ぶつからないように注意し、わたしにできることがあれば、どんな人でもお手つだいをしたいです。



飯山総合保健福祉センターの方に教えてもらったよ